

<問い合わせ状況 2023 年 9 月>



● 院外処方せんに関連する問い合わせ

当院は院外処方せんを発行しています。処方内容などに疑義が生じた場合の窓口は薬剤師となっており、月に 5 ～10 件程度の問い合わせに対応しています。9 月の疑義照会は 5 件で、内容は以下の通りでした。



- 用法用量確認 (2 件)
- 日数確認 (3 件) ※用法用量と日数確認 両方の問い合わせが 1 件
- その他 (1 件)
 - ・ドパコール[®]L 錠が他院からも処方あり。増量か？

● 薬に関する問い合わせ (患者・家族・施設より)

患者さんやご家族、施設の方からの質問にも対応しています。

9 月はお問い合わせが 3 件ありました。

- 退院処方が次回受診日まで足りないがどうすれば良いのか？
- β ブロッカーの点眼による副作用について
- 退院時ベルソムラ錠があったが、これは元々どこからの薬だったのか？



● 薬に関する問い合わせ (院内より)

他部署スタッフからの質問にもお答えしています。記録してある DI 室への問い合わせは、9 月は 4 件でした (病棟で直接質問されたことは未記載の可能性あります)。

◎がついたものについては回答を DI ニュース No. 456 に記載しています。

◎リバスチグミンテープで QT 延長の家族歴を確認するように記載されたが、他の QT 延長が生じる可能性のある薬剤全てで家族歴を確認する必要があるのか？

◎タグリッソ[®]錠は粉碎又は簡易懸濁は可能か？

●スピロノラクトンとビソプロロールフルマル酸は粉碎可能か？→可

●腎機能低下患者へのバラシクロビルの使い方は？

→下表参照



	クレアチンクリアランス (mL/min)			
	≥50	30～49	10～29	<10
・単純疱疹 ・造血幹細胞移植における単 純ヘルペスウイルス感染症 (単純疱疹) の発症抑制	500mg を 12 時間毎	500mg を 12 時間毎	500mg を 24 時間毎	500mg を 24 時間毎
・带状疱疹 ・水痘	1000mg を 8 時間毎	1000mg を 12 時間毎	1000mg を 24 時間毎	500mg を 24 時間毎
・性器ヘルペスの再発抑制	500mg を 24 時間毎 なお、HIV 感染症の 患者 (CD4 リンパ球 数 100/mm ³ 以上) に は、500mg を 12 時 間毎	500mg を 24 時間毎 なお、HIV 感染症 の患者 (CD4 リン パ球数 100/mm ³ 以 上) には、500mg を 12 時間毎	250mg を 24 時間毎 なお、HIV 感染症 の患者 (CD4 リン パ球数 100/mm ³ 以 上) には、500mg を 24 時間毎	250mg を 24 時間毎 なお、HIV 感染症 の患者 (CD4 リン パ球数 100/mm ³ 以 上) には、500mg を 24 時間毎